

石岡地区保護司会 会長賞

「社会を明るくする運動」

園部中学校 一年 西牧 来未（にしまき くるみ）

最近ニュースなどで、犯罪や非行をした人についての話を目にするのことがあります。たとえば、万引きや暴力、薬物など様々な事件があります。私はそのような人を見たとき、ただ「悪い人だ」と決めつけるのではなく、「どうしてこんなことをしてしまったのか」「これからその人はどうやって生きていくのか」と考えるようになりました。

もちろん、犯罪や非行をしてしまったことは、決して許されることではないです。悪いことをしたら、その責任を取らなければならないと思います。でも、私は一度犯罪を犯したからといって、その人が一生「悪い人」のままであるとは限らないと考えました。人は間違えることもあるし、やり直すこ

ともできるからです。

以前、薬物の販売を行ってしまった女の子が女子少年院に収容されてしまったという話をききました。ですがそんな女の子たちや、少年院や鑑別所を出た若者たちの立ち直りを支援する更生保護施設があるらしく、やっぱり犯罪を犯しても、きちんと向き合ってくれる人たちはいるんだなと思いました。

私はこの話を聞いて感動しました。そして、だれかに信じてもらえることが、どれほど大きな力になるのかを知ることができました。

もしも、向き合ってくれる人たちが一人もいなかったら、女の子たちは今も立ち直れていなかったかもしれない。人が変わるには、本人の努力も

必要だけれど、それにちゃんと向き合ってくれる人たちの存在も大切なのだと思います。

一方で、立ち直ろうと頑張っている人が、社会から冷たい目で見られることもあります。たとえば、前科がある人は就職が難しかったり、近所の人から嫌がられたりすることがあります。そうすると、「どうせ自分なんて、」とあきらめて、また悪いことをしてしまうこともあるとききました。とても悲しいことだと思います。

立ち直ると言うのは、簡単ではありません。自分の過去と向き合い、深く反省し、新しく生き直すには、大きな勇気と努力が必要です。だからこそ、その努力をきちんと見てあげること、そして「変わろうとしている人がいる」

という事実を目を向けることが、私たちにできる大切なことだと思います。

すぐに全てを受け入れるのは難しいかもしれませんが、でも、「人は変わる」と信じる気持ちを、私たち一人一人が持てたら、社会は少しずつ優しくなっていくのではないのでしょうか。過去を背負いながらも、前を向いて生きようとするとする人に対して、チャンスを与えられる社会であってほしいと思います。

私たちはこれからも、「人は変わる」という気持ちを大切にしたいです。そして、犯罪や非行をした人をただ否定するのではなく、その人がもう一度やり直すことができるような社会を、みんなで作っていかれたらいいと思います。

